



神奈川県内における 特殊詐欺発生状況等について



令和元年9月版
神奈川県警察本部
生活安全総務課

1 特殊詐欺認知状況

	令和元年8月末			前年同期比	
	件数	構成比	被害総額	件数	被害総額
特殊詐欺	1,750	--	約31億8,400万円	-134	-約9億2,200万円
特殊詐欺（詐欺・恐喝）	1,416	80.9%	約27億5,800万円	-361	-約12億2,300万円
主要手口	1,416	80.9%	約27億5,800万円	-358	-約12億2,100万円
オレオレ詐欺	1,014	57.9%	約16億300万円	-302	-約9億5,900万円
警察官等をかたるキャッシュカード手交	675	38.6%	約7億4,900万円	-130	-約3億6,000万円
架空請求詐欺	162	9.3%	約8億9,600万円	-58	-約2億1,400万円
融資保証金詐欺	9	0.5%	約700万円	-10	-約2,100万円
還付金等詐欺	231	13.2%	約2億5,200万円	+12	-約2,800万円
その他の手口	0	0.0%	0円	-3	-約100万円
金融商品等取引名目	0	0.0%	0円	±0	±0円
ギャンブル必勝法情報提供名目	0	0.0%	0円	-3	-約100万円
異性との交際あっせん名目	0	0.0%	0円	±0	±0円
その他の名目	0	0.0%	0円	±0	±0円
特殊詐欺（窃盗）	334	19.1%	約4億2,600万円	+227	+約3億0,000万円

※ 被害総額は、キャッシュカード手交手口によるATMにおける払出（窃取）額を加えた実質的な被害額

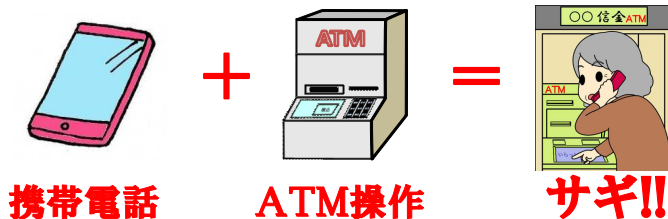
※ 前年同期比は、令和元年暫定値と平成30年確定値の比較（特殊詐欺（窃盗）については暫定値の比較）

2 情報掲示板

携帯電話を使用しながらATMを操作する高齢者に声掛けを!!

特殊詐欺の認知件数は、1,750件（前年同期比-134件）と減少こそしているものの、還付金等詐欺の認知件数が231件（前年同期比+12件）と増加しています。

これは、「休日」及び「銀行の窓口が閉まっている午後3時以降」における被害が原因の一つと考えられ、犯人側が警戒の薄くなる曜日や時間をあえて狙っていると思われます。また、犯人が被害者をコンビニに誘導した上で、店員からの声掛けによる被害防止を防ぐため、被害者がATMを操作中、店に対しクレームの電話を入れ、店員の声掛けを妨害する手口があります。



3 神奈川県警察からのお知らせ

県警では、特殊詐欺の撲滅に向け、下記の期間を「特殊詐欺撲滅対策推進強化月間」として、検挙・抑止活動をさらに強化します。

関係機関・団体の皆様におかれましても、依然、被害の多いキャッシュカード手交型の手口やすり替え型の手口をはじめとした各種手口に対する注意喚起・広報啓発活動などに、御協力をお願いします。

○ 実施期間 令和元年10月1日（火）から同月31日（木）までの間